



2023年4月統一地方選挙
粕江・生活者ネットワークの
小木てつろう(新人)、まつざき淑子(1期目)が
市政に挑戦

まつざき淑子の議会報告



誰もが安心して暮らし続けたいと思う粕江に！
粕江・生活者ネットワーク政策委員
小木てつろう

40年間、報道の最前線で人々の怒りや喜びを取
材し、その声を番組作りに活かしてきました。テレビ
朝日では女性の目線で生活の豊かさを考える報
道番組「スーパー」チャンネルのプロデューサー
(番組総責任者)として、その後報道ステーションの
プロデューサーとして社会問題を伝えることに力
を注ぎました。常に市民の思いを放送に反映して
きた40年でした。

これからは市民の皆様の声が市政に反映するた
めに働きたいと願っています。

粕江の最大の課題は 多摩川・野川の治水対策
です。私はコミュニティFM「コマラジ」で災害報道
の責任者を務めてきましたが、粕江市の市民への
災害情報発信はまだ不十分です。体制強化は
急務です。どの自治体よりも安心安全なまちをめ
ざして自分自身も現場で汗をかく覚悟です。

自己責任ですべてが片付けられ、多くの人が暮
らしに閉塞感や不安を感じています。誰もが豊かさ
を実感できる粕江をめざし、市民の切実な声をしっ
かりと聞き、政治の場につなぐとともに、市民の市
政への参加をすすめて、粕江市政改革に大胆に取り
組みます。

2023年4月:統一地方選挙 粕江・生活者ネットワークの 小木てつろう(新人)、まつざき淑子(1期目)が 市政に挑戦! 参加と自治の市民政治を前進させます!

松崎 コロナ禍を経験し、社
会の矛盾が一気に顕在化しまし
た。私が毎週実施している市民
の声を聴く「困りごと相談」に
も如実にあらわれています。格
差がますます広がり、複雑な課
題を一人で抱えて不安な毎日
を送っていらっしゃる方が多いの
に驚きます。若者や一人暮らし
の女性の困難もめだちます。

松崎、小木 不安を安心に変え
るために、私たちを市政に送っ
ていただき、大勢の市民のみな
さんと力をあわせてまちづくり
に取り組みたいと思います。

粕江・生活者ネットワ
ークは、「安心・共生・自治のまちをつ
くる」ために1987年以来地域政
党として活動してきました。
地域や生活課題の解決のため
に、自分たちの住んでいるまち
の意思を決定する場として粕江
市議会に市民の代表を送っています。
基礎自治体は生活の現場です。
誰もが安心して自分らしく暮ら
せるまちは私たちの願いです。
現市議会議員まつざき淑子と粕
江・生活者ネットワーク政策委
員小木てつろうの二人に日々の
活動から感じていることを話し
てもらいました。

これまでの縦割りで解決で
きない課題も沢山あることを知
りました。粕江独自の包括的で
重層的な支援体制を粕江市や市
民のみならずと一緒につくって
いきたいです。
小木 私は、落ち着いた緑豊か
なこのまちが気に入って粕江市
に引っ越してきました。が、知
らないうちに居住地の用途地
域が変更される方向だと知りびっ
くりしました。無関心や人任せ
になりがちなまちづくりにより
市民が関心を持てるような情報提
供や多様な視点で話し合える場も
大事だと思いました。
また2019年の東日本台風を経
験し、異常気象が多発している昨
今だからこそ地域で安心して暮
らすために防災対策、持続可能
な環境整備は待たなしの喫緊
の課題だと痛感しています。

小木哲朗 おぎてつろう プロフィール

- 1959 愛知県豊橋市生まれ、杉並で育つ
- 1978 慶應義塾志木高校卒
- 1983 慶應義塾大学経済学部卒 (1981年~1982年 香港中文大学交換留学)
- 1983~1998 NHK勤務
- 1994~1997 北京支局特派員
- 1998~2023.1 株式会社テレビ朝日勤務 報道局で「スーパー」チャンネル、報道ステーション、AbemaNews などプロデュース
- 2019 粕江ラジオ放送株式会社 (コマラジ) 運営メンバー&パーソナリティ、災害報道担当
- 2022 粕江・生活者ネットワーク 政策委員

- 家族 妻
- 岩戸北1丁目在住
- 趣味 弓道



◀平常時の多摩川は市民の憩いの場だが...
政策委員小木てつろうと二ヶ領宿河原堰にて



多摩川決壊の碑
1974年9月1日大型台風16号により民家19棟が流出

生活者ネットワークの3つのルール

1. 議員は交代制
2. 議員報酬は市民の政治活動資金に
3. 選挙はカンパとボランティアで。

●粕江・生活者ネットワークの活動を紹介します

郵便はがき
料金受取人払郵便
粕江局承認
758
2018790
差出有効期限
令和5年9月
30日まで

粕江市東和泉 1-1-25
松崎ビル 101

粕江・生活者ネットワーク
まつざき 淑子 行



住所 _____ 電話 _____

氏名 _____

年代 ~19・20 30 40 50 60 70 80代以上

生き生きレポート(無料)の定期郵送を

希望します

よしこ まつざき淑子の議会報告

市議会議員



狛江市議会第4回定例会が2022年11月24日から12月19日まで開かれました
<http://matsuzakiyoshiko.seikatsusha.me/>

12月議会報告

- 💰 一般会計約3億7千万円の補正予算を可決
- 物価高騰対策として福祉サービス事業所や保育園、フードバンク、子ども食堂へ活動支援金
- 学童保育待機児童対策
- 医療的ケア児の保育園受け入れ環境整備
- 第四中学校生徒増対策
- 出産子育て応援金(2022年4月からの出産に遡って)10万円の支援金と相談体制の一体化
- 幼稚園送迎バス置き去り事故防止対策費など
- ◆ 狛江市個人情報の保護に関する法律施行条例賛成多数で可決
濫用防止など保護の水準に後退がないことを確認。審議会の設置と市民へ運用状況公開は継続されます。個人情報を取り扱う担当者の意識強化を求め賛成。
- ◆ 行き届いた教育の実現と教員不足の解消、教職員の長時間労働解消へ、教職員の増員を求める意見書の提案者となり、賛成多数で可決
- ◆ 交通弱者解消のために小田急バスのダイヤ変更を求める陳情を建設環境常任委員会に付託



▲ 新年度予算提案書を市長に提出し、意見交換

▼ 明るい雰囲気の子葉学園(調布市)子どもショートステイを視察



まつざき淑子の一般質問

👶 子どもの育ち・子育てを支えるために

- (1) **日曜保育** 横浜市や八王子、町田市などで実施されており、日曜日に出勤する保護者からの要望を受けて質問しました。保育士不足などで狛江市で実施するのはハードルが高く、ファミリーサポート、ベビーシッターで対応との答弁。定員割れ保育園や困難事例対応のために公立保育園への働きかけを要望しました。
- (2) **子どもショートステイ** 保護者の入院・出張・負担解消目的で2~12歳児が1日2000円で利用できる制度。2歳未満は児童相談所を紹介。世田谷区は0歳から、調布市は1.5歳から利用可能です。ケア人材を確保し、近隣市のように対象年齢引き下げを望みます。
- (3) **給食牛乳廃棄問題** 10月は1日平均小学校82/3900本1.3% 中学157/1450本10.8%も捨てています。フードロスの観点からも子ども達と対策を考えることが必要と再度訴えました。

♻️ プラスチックごみの資源化

国のプラスチック資源循環促進法と狛江市ゼロカーボン宣言により、来年4月からプラスチックごみの分別収集がスタート。50cm未満の汚れていない容器プラ・製品プラが対象で、収集は週一回、新しくブルーの有料収集袋で。市外の間処理施設でペール化し燃料に資源化される予定です。循環型社会をめざし、プラスチックの使い捨てを減らすとともに、燃料ではなくプラスチックに再資源化することを国に要望するよう求めました。

🌳 特色ある公園づくりは市民参加で

市は11月に市内の全公園77か所で、QRコードを活用したwebアンケートを実施。回答は約550件と多数。利用状況、市民意見を把握し、公園施設長寿命化計画策定に反映するためですが、機能再編や再整備の基礎資料にもすること。今後は地域別にワークショップなど行う予定。公園は市民にとって大事な公共空間です。残念ながら狛江市民一人当たりの公園面積は市部最低の1.50㎡(平均7.64㎡)で、目標は1.61㎡です。都市計画マスタープランに基づき生産緑地の都市計画公園指定の検討を求めました。

二期目に挑戦します まつざき淑子

「市民と市政をつなぐ」その架け橋の役割を担うために、議員として3年余働いてきました。2019年東日本台風による浸水被害が発生し、その後新型コロナウイルス感染症拡大に見舞われたことで、一層この思いがつのり、2020年10月より毎週「困りごと相談」の旗を立てて議員有志と狛江駅に立ち、多くの相談をうけてきました。待っているだけでは届かない声もあります。「いつでも、どこからでも声をかけてください」との発信を続けます。そして、勇気をもって発せられた声に共感し支援につなぐとともに、議員として市政に働きかけていきたいと心から願っています。ひとつでも多く、狛江市民の困りごとを解決するためにも活動する仲間を増やしたい！生活者ネットワークの議員複数化をめざして頑張ります

狛江・生活者ネットワークは、皆様からのご意見をもとに調査し、狛江市への予算要望や提案に活かしています。子育て・教育・介護・保健医療・環境・防災など、なんでも気になっていることをお寄せください。切手を貼らずに投函して下さい。



わいわい集会

市民の力で政治を変えよう！
今こそ民主主義と自治を狛江から

Information

ゲスト:尾中香尚里 おなかかおり
元毎日新聞政治部記者、タウン誌ふじさわびと記者
日時:3月4日(土曜日)13:30~16:00 参加費:無料
会場:泉の森会館3階ホール 主催:狛江・生活者ネットワーク
申込: komanet.sekatusya@nifty.com TEL03-3430-1302



都市の貴重な緑を未来につなぐ
市民の手で保全されている狛江駅北口の特別緑地保全地区(政策委員小木てつろうと)